

プレショートレビュー実施支援

① 依頼内容

A社は、食品の小売業を展開している会社であるが、事業規模の更なる拡大のため、社長から3年後の上場を目指したいという意向があった。A社は、株式公開に関する知識・経験が無いため、現状の課題や今後の注意点を把握し、スケジュールの作成を行いたいということで、当社にプレショートレビュー実施の依頼があった。

② 当社のサポート内容

依頼を受け、3日間のプレショートレビューを実施した結果、以下の課題が発見された。

【確認事項】

- ・事業の収益性・成長性の確認
- ・会計処理の妥当性検討
- ・内部統制の状況の確認
- ・予算管理体制の確認
- ・特別利害関係者との取引確認
- ・関係会社整備 etc

【課題の抽出】

- ・ 滞留債権の十分な管理がなされていないこと。
- ・ 取締役会が3ヶ月に1回しか開催されていないこと。
- ・ 社長親族(役員)への貸付金が存在すること。
- ・ 100%出資で過去に多額の欠損金が発生している子会社や休眠状態の子会社があること。

当社は、滞留債権管理のための課題を洗い出し、管理ツールを整備するとともに、これに関連する規程・マニュアル類を作成した上で、担当者周知のための研修を実施した。

また、株式公開を目指す上では、取締役会は機動的な意思決定や適時な監督機能を果たす必要があるため、最低毎月1回の開催を依頼した。

社長親族への貸付金については、役員と会社との取引は、報酬・配当以外解消する必要があるため、速やかに解消するよう依頼した。

子会社については、公開審査上重要となる、存在の合理性や申請会社であるA社との業務の切り分け等について十分に検討し、A社との合併や清算のスキームを提案し、後日実行した。

③ 成果

3日間という短期間ではあったが、株式公開に向けたプレショートレビューを実施し、課題抽出、課題への今後の対応方針、上場を目指すにあたり注意しなければならない事項を報告した。

その後の公開準備作業は、課題の早期対応が功を奏し、順調に進捗している。現在は直前期に入り、当社はJ-SOX 制度対応のための支援業務を行っている。

